

2026

# 消防のしごと



メモ

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----



学校名

氏名

発行 令和 8 年 3 月  
企画・編集 宇城広域連合消防本部  
総務課企画広報係  
印刷所 コロニー印刷

宇城広域連合消防本部



## 目次

- |                            |                          |
|----------------------------|--------------------------|
| 1. わたしたちの町と宇城消防 ……2～3      | 10. 大切な命を守るために ……20      |
| 2. 火災出動や救急出動の仕組み ……4～5     | 11. ぼくもわたしも消防士 ……21      |
| 3. 火を消す仕事 ……6～7            | 資料1. 消防の服そうやそうび ……22     |
| 4. 人を助ける仕事 ……8～9           | 資料2. 消防自動車のいろいろ ……23     |
| 5. 火災を起こさないための仕事 ……10～11   | 資料3. 器具のいろいろ ……24～25     |
| 6. 消防署の一日 ……12～13          | 資料4. 火災と救急の統計 ……26～27    |
| 7. 町の消防水利と建物の消防せつび ……14～17 | 資料5. PA連携 ……28           |
| 8. 風水害・地震のときの活動 ……18       | 資料6. みんなの大切な命を守るAED ……28 |
| 9. ふるさとを守る消防団 ……19         | 資料7. 中型水陸両用車 ……29        |

## 先生や保護者の方々へ

この本は、宇城地区の消防の仕事を小学校の教育課程の中で、正しく指導していただくとともに住民の皆さんにご理解とご協力をお願いするために作成したものです。編集にあたっては、小学校児童を対象に編集しましたが、指導のための参考資料も掲載しましたので、ご活用ください。

消防活動が組織的に営まれて「災害に強い町づくり」「安全で快適な生活環境づくり」に努めていることをこの小冊子によりご理解いただければ幸いです。



おそろしい災害は  
いつ、どこで、起こ  
るかわかりません。  
災害を防ぐために、  
わたしたちの市や町  
では、どのように力  
を合わせているので  
しょうか？



## 指導上の留意点

私たちの生活の中には、どんな災害が潜んでいるのか、災害とは何か、みんなで話し合しましょう。

# 1 わたしたちの町と宇城消防

宇城地区は、熊本県の中央部にあり、国道や高速道路、鉄道が走っています。このため、火災をはじめ、いろいろな災害が発生します。宇城地区のみなさんを、火災などの災害から守るために宇城地区の市や町が力を合わせて宇城消防をつくっています。

★消防署・分署は、いつ、どこで火災が起きても、すばやく消火できるように配置されています。

★それぞれの消防署・分署は受持ち区域がまっていますが、大きな火災や事故のときは、ほかの区域にもおうえんに出動します。

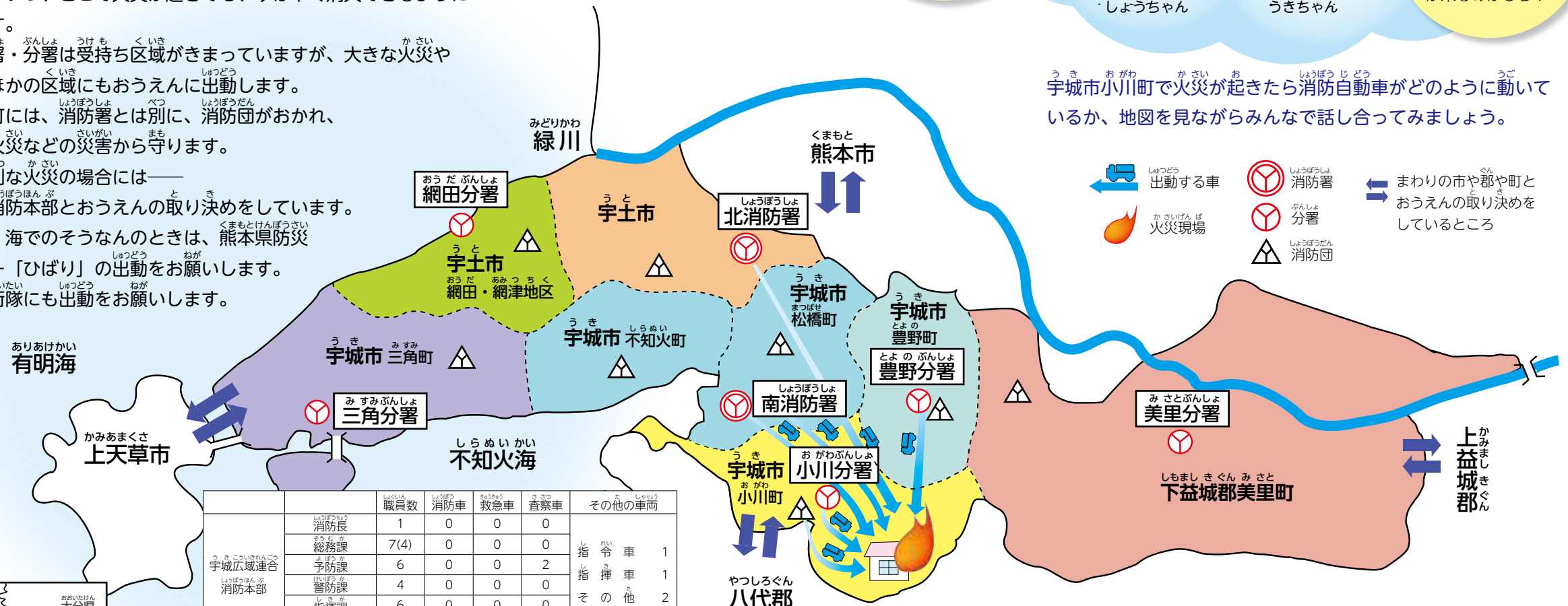
★それぞれの市や町には、消防署とは別に、消防団がおかれ、みなさんの町を火災などの災害から守ります。

★大きな災害や特別な火災の場合には――

- ・近くの市や町、消防本部とおうえんの取り決めをしています。
- ・大きな山火事や、海でのそなんのときは、熊本県防災消防ヘリコプター「ひばり」の出動をお願いします。
- ・海上保安部や自衛隊にも出動をお願いします。



宇城市小川町で火災が起きたら消防自動車がどのように動いているか、地図を見ながらみんなで話し合ってみましょう。



宇城地区は熊本県の中央にあります。

	職員数	消防車	救急車	査察車	その他の車両
宇城広域連合 消防本部	消防長	1	0	0	0
	総務課	7(4)	0	0	0
	予防課	6	0	0	2
	警防課	4	0	0	0
	指揮課	6	0	0	0
通信指令課	7	0	0	0	
北消防署	署長	1	0	0	0
	北消防署	30	3	2	0
	美里分署	16	1	1	1
	網田分署	10	1	1	1
南消防署	署長	1	0	0	0
	南消防署	30	1	3	1
	三角分署	16	1	1	1
	豊野分署	10	1	1	1
	小川分署	10	1	1	1
合計	159	9	10	8	13

( ) は総務課付職員【令和8年1月現在】

## 消防団

令和7年4月1日現在

項目	市町	宇土市	宇城市	美里町	合計
団員数	男性(人)	532	1,211	248	1,991
	女性(人)	15	22	13	50
	合計(人)	547	1,233	261	2,041
ポンプ数(台)		38	117	36	191

## 指導上の留意点

宇城地区で考えられる災害を話し合い、上の図を見て自分たちの町から火事が起きたらどこから消防自動車が出動するのか話し合いましょう。

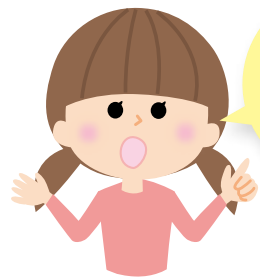
# 2

## 火災出動や救急出動の仕組み

火災や交通事故が起きたとき、どうやってすばやく助けを  
求める人のもとへかけつけるのだろう？



救急車をお願いします！  
〇〇町〇〇の〇〇のそばです



119通報

4 連絡

2 3 出動指令

4 連絡

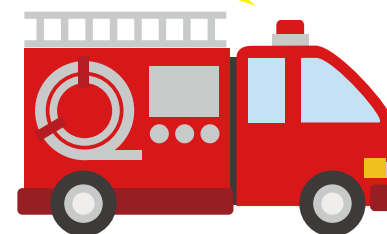
1

119通報



火災です！  
〇〇町〇〇の〇〇の  
近くです。  
〇〇がもえています。

ウ〜 ウ〜



5 火災出動



1



### 通信指令室の役割

- 1 宇城地区全ての火災や救急の知らせを受けます。
- 2 119番で火災や救急の知らせを受けると、すぐ消防隊や救急隊に出動の指令を出します。
- 3 分署や外に出ている消防隊にも無線などを使って出動の指令を出します。
- 4 市役所（役場）や消防団、警察署、ガス会社、電力会社などに次々連絡します。
- 5 出動中の消防隊や救急隊と、無線でいろいろくわしい様子をやりとりします。

### 指導上の留意点

通報から消火活動までの一連の組織活動を理解させてください。

消防自動車が出動現場に到着するまでには、いろいろな障害があり、119番をまわしたからといってアツという間に消防自動車はやってこないことを理解させてください。また、早く正しい通報、初期消火がいかに大切であるか考えさせてください。

- ※ 到着するまでの障害物 —— 車、道路工事、道路渋滞等
- ※ 到着してからの障害物 —— 見物人、車等

### 指導上の留意点

※119番の正しい通報のしかた

- ①火災か救急かをはっきりと
- ②場所は〇〇町〇〇 目標は〇〇（目じるしになる建物）の近く
- ③何がどの程度もえているか
- ④名前、電話番号

●119番にいたずら電話をかけると、火災や救急のときに困りますので、いたずら電話をしないように指導してください。

# 3

## 火を消す仕事 火災現場での活動

絵を見ながら、いろいろな人たちが力を合わせて火を消している様子や人を助け出す様子を話し合ってみましょう。



火災現場

ゆうどうとう  
屋内消火栓

おくないしょうかせん  
屋内消火栓

ポンプ車

火災現場から、はなれていても水がたくさんあるところからホースをのばして近くにいる消防車（タンク車）に水を送ります。

タンク車

家や会社で仕事をしていて火災の知らせがあると急いでかけつけてきて、消防署の人たちと協力して消火活動します。

しょうぼうたい  
消防隊

きゅうきゅう  
救急車

きゅうきゅうたい  
救急隊

きゅうじょたい  
救助隊

にげおくれた人を助け出すのがわたしたちの役目です。

ぼうさい  
防災サイレン

電力会社の人  
感電しないように電気のもとを切ります。

ぼうさいむせん  
防災無線

はしご車

しょうぼうだんいん  
消防団員

しょうか  
消火活動

けいさつかん  
警察官

しょうか  
消火活動しやすいように人や車の整理をします。

しきたい  
指揮隊

火災の様子を見て早く消えるように消防隊に指示を出します。

しょうか  
消火栓

ガス会社の人

きゅうじょ  
救助工作車

### まとめ

消防団、役所の人、ガス会社、電力会社、警察、近所の人たちがたがいに協力しています。また火を消すだけでなく、にげおくれた人を助け出すのも消防の大切な仕事です。火をすばやく消すために、消防水利や消防せつびを使っています。

# 4 たす しごと 人を助ける仕事

## 救急隊の仕事

ケガをした人や病気の人に応急手当をして救急車で病院へ運びます。

いろいろな救急出動があるけど、助けを求めている人のもとへ、1秒でも早くかけつけることが大切だよ。



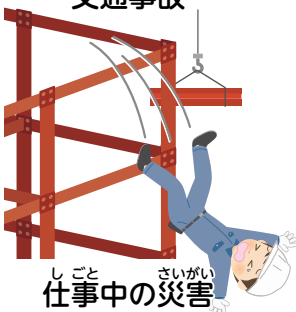
救急隊のエムブレム



交通事故



重い病気



仕事中の災害



ヤケド

消防署から救急出動 (4ページ)



現場で応急手当をします。

“もうすぐ病院ですよ がんばってください!”

病院に到着。病院のみなさんへ、患者さんをお願いいたします。

## 救助隊の仕事

火災や交通事故などいろいろな災害で、にげおくれた人を助け出します。



おぼれた人を助けています。



車の事故で、車の中にとじこめられた人を助けています。



海や川でおぼれた人を助ける準備をしています。

人を助けることは、とてもきげんなことなんだ。だから、いろいろな災害を考えて、日ごろからきびしい訓練をしているんだよ。



救助隊のエムブレム



うき UKI を火の鳥にイメージしたものです。



ひくい所に転落した人を助ける訓練。

### 指導上の留意点

※宇城では、現在9台の救急車を拠点署所に配置し、救急業務活動をしています。  
 ※救急車は、本当に急いで病院に搬送しなければならない患者がでたときに出勤します。  
 軽症のけがや病気で救急車を呼ぶと、重症患者が出た時に、間に合わなくて命を失うこととなります。救急車は、重症患者のためにあることを理解させてください。

### 指導上の留意点

消防の大きな目的の一つである人命救助の重要性を考えさせ、また消防活動、人命救助を迅速的確に行うために、日夜訓練をくりかえし、住民の生命財産を守っていることに気づかせてください。  
 また、NEXCO西日本から委託を受けて、九州自動車道松橋I・Cから上り線は御船I・Cまで、下り線は八代I・Cまでの交通事故や車両火災などに救急隊や消防隊が出勤することになっています。

# 5 火災を起こさないための仕事

火災を起こさないようにするために、消防署では、どんなことをしているのでしょうか。火災を起こさないようにするために消防の職員は、いろいろな仕事をしています。



ガソリンスタンドやもえやすい物がたくさんあるところは、けんさします。



建物を火災から守るせつびをけんさして指導します。



きげん物を入れて走るトラックをけんさしています。



学校やデパート、工場、病院など人がたくさん集まるところをまわって、「消防せつびは整っているか、火災の起こりやすいところはないか、ひじょう口は、すぐ開くようになっているか。」などをけんさします。



火災の起こった理由を調べて、火災を起こさない方法や火災を早く消す方法など、いろいろな研究をしています。



消防の仕事は火を消すことのほかにも、たくさんあるんだね



町の人たちと一緒に消火訓練をしたり、火災を起こさないための話し合いをします。



大切な文化財の消火訓練を行って火の用心をよびかけます。



一人暮らしのお年よりや体が不自由な人の家を訪問して、火の用心をよびかけます。

## 指導上の留意点

消防はもともと発生した火災を迅速的確に鎮圧することから始まりましたが、何よりも火災を発生させないことが第一です。そのためには、法令で種々の予防措置を講ずるとともに防災意識の普及啓発を行うことが必要です。予防行政の主なものとしては、予防査察、建築時の消防同意、危険物規制、消防用設備等の設置に維持、防火管理者制度などがあり、近代消防がもっとも重視している仕事であることを理解させてください。



防火教室で地域のみなさんといっしょに火災を起こさない勉強をしています。



みなさんに考えてもらった防火ポスター・防火標語・防火絵をお店にてんじして火の用心をよびかけます。



保育園や学校、病院などのひなん訓練の指導をします。

みんなもおそろしい火災が起きないように協力してね!!



# 6 しょうぼうしょ 消防署の一日

いつ起こるかわからない災害にそなえて、消防署では、どんなことをしているのでしょうか。



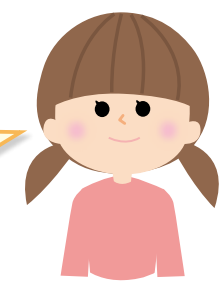
消防車や器具の点検をします。



きんむ交代

消防署の24時間。この間で火災・救急・救助があればすぐに出勤します！

火災や急病人は、いつ起こるかわからないから24時間つづけて消防署につとめているんだ。夜は、5～6時間休むことができるけど、出勤にそなえてすぐに起きられるようにじゅんびをしているんだね。大きな災害が起こったときは、まったく休めないこともあるみたいだね。



火災現場から帰ると、すぐ次の火災にそなえてホースを積みかえます。



消防車の清掃や点検をします。



トレーニングで体を強くします。

朝8時30分	朝9時～	昼12時	夕方5時15分	夜6時15分	深夜0時	朝6時30分	朝8時30分			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ きんむ交替</li> <li>☆ 消防器具の点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 調査</li> <li>☆ 水利や道路を調べる</li> <li>☆ 予防 (立入けんさ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 昼食</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 訓練</li> <li>・ 消火 (火を消す)</li> <li>・ 救助 (人を助ける)</li> <li>・ 救急 (応急手当)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ トレーニング</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 夕食</li> <li>☆ 自主勉強</li> <li>☆ 書類整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 119 受付など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 仮眠 (火災や救急などがあったらすぐに起きて出勤します)</li> <li>☆ 通信指令課の人は、交替できんむします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 車両清掃・書類整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ きんむ交替</li> </ul>



報告書作成の様子



いつ、どこで火災が起きても消火の水は十分あるか、消火栓や防火水そう、川などを調べておきます。



消火訓練



応急処置の訓練



火災を早く消すためには、どのようにすればよいか、勉強します。



救急出動の様子

## 指導上の留意点

火災現場における消防隊の活動は、はなばなしく見えるが、むしろ消防車の整備、消防技術訓練、訓練場での体力、気力の増強、地理、水利の調査等、目に見えないところで被害を最小限に防ぐ仕事をしていることを理解させてください。

しょうぼうすいり たてもの しょうぼう  
町の消防水利と建物の消防せつび

しょうぼうすいり  
(1) 町の中の消防水利

大きな火災が起きると、たくさんの水が必要なんだ。しかし、水がいつも、も、どこにでもあるとはかぎらない。そのため、消火栓や防火水そうなどの消防水利がそなえてあるんだ！



ぼうか 防火水そう

ぼうか (防火水そうと標識)

吸水管で水を吸い上げる

火事の際にすぐ水を使えるよう、消火栓や防火水そうのふた（マンホール）の上に車を止めないでください。



水の量…防火水そうには約40トンの水が入っています。これは、お風呂の約200かい分の水の量です。

しょうか  
そのほかの消火に使う水



しら 調べてわかったこと！

- 消火栓や防火水そうは、地下に作られていた。
- 消火栓や防火水そうは、目立つように工夫してあった。  
消火栓→ふたが黄色だった。  
防火水そう→標識があった。
- 消火栓は、家が多くあるところにたくさんあった。

指導上の留意点

自分たちの学校周辺の消防水利を実際に調べてみよう。学校周辺の地図を書いて、その中に消防水利を書きいれてみましょう。  
消防水利は、消火栓、防火水そうのほかに近くの河川、池、プール、海、堀水、井戸なども活用されていることに気づかせてください。



## (2) 建物の中の消防せつび

建物で火災が起きたとき、早く見つけ、小さいうちに消し、安全にひなんでできるようにそなえられているものに、次のような“消防せつび”があります。

※みなさんの学校や家の中には、どんな消防せつびがありますか？

### ① 火災を早く発見するもの



①② 自動火災報知せつび



①② 住宅用火災けいほう器

☆家の中のねる部屋と階段には住宅用火災けいほう器を取り付けなければなりません。

### ② みんなに早く火災を知らせるもの



② 放送せつび

② ひじょうけいほうせつび

### ③ 安全に早くひなんするもの



③ ゆうどう灯

③ ひなん階段

③ かんこう機

### ④ 火災を早く消すもの



④ 消火器

④ 屋内消火栓

④ 屋内消火栓の中の様子

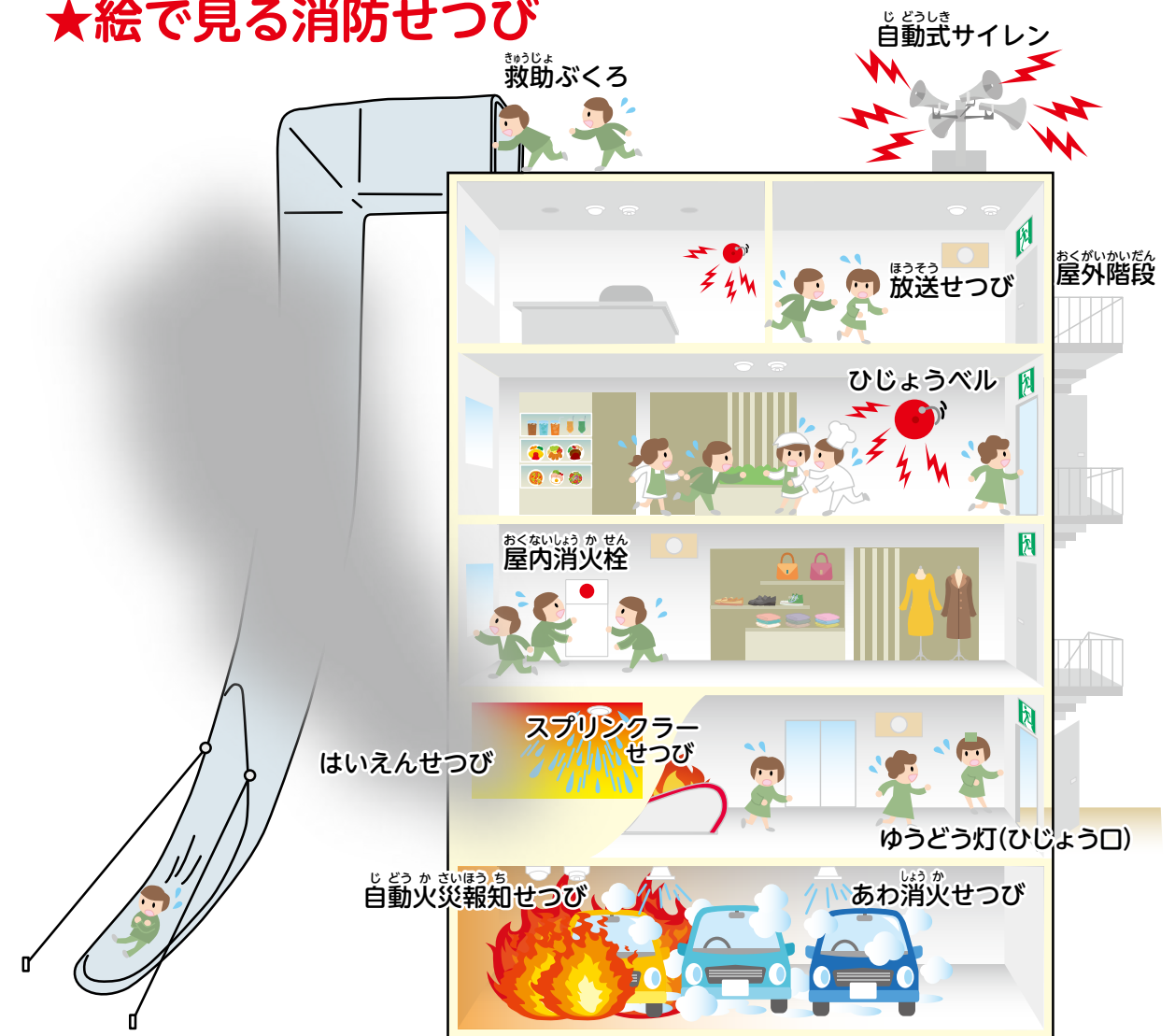
### ⑤ ほのおやけむりをくいとめるもの



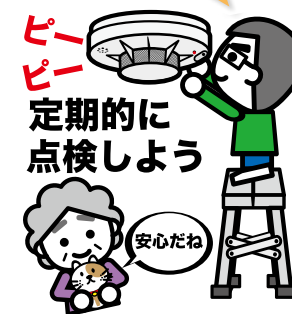
⑤ 防火とびら

⑤ 防火シャッター

## ★絵で見る消防せつび



消防せつびがあっても使い方を知らなかったり動かないようじゃダメ！  
イザというときのために訓練したり、点検したりしなければいけないんだ。



▼ひなん訓練と消火訓練をしている様子



かつどう  
のときの活動



ひなを呼び掛けています。



水が町に入らないようにしています。



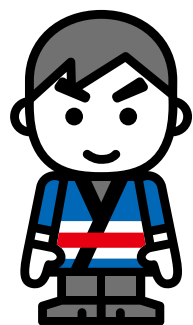
地すべりを調査しています。



機械を入れて搜索しています。

わたしたちの市や町には消防団があり、災害が起こったとき、ひ害が大きくならないようにみんなの暮らしを守っています。

消防団の人は、いつもは会社や工場につとめたり、家で仕事をしています。サイレンや防災無線やメールなどで火災を知ると仕事をやめ、急いで火災現場へ出動し、消防署の人たちと協力して、消火活動を行います。



いざというときには  
みんなの町を守るために  
がんばるよ！



●消防団のそしき

みんなの町の大人の人たちでそしきされています。



みなさんの家から火災が起きないように女性消防隊員もかつやくしています。

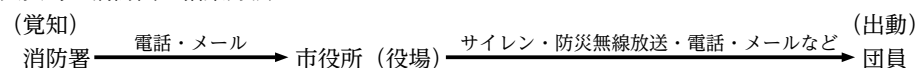


でぞめしき  
出初式

指導上の留意点

消防団員は、火災や風水害の時の出動はもとより、出初式、ポンプ操法大会、年末警戒、合同訓練などの町の行事にも積極的に参加し、地域社会への奉仕活動を行っています。

火災時の消防団の招集方法



# 10 大切な命を守るために

## 地震だ!! あなたならどうする?

日本は世界の中でも地震の多い国です。いつどこで発生するかわかりません。地震が起きたら、どうするか、地震へのそなえは日ごろからどうすればよいのでしょうか



### 「地震が起きたら」一

#### 《家の中では》

- つくえの下に入ってゆれがおさまるのを待つ。
- つくえなどが無いときは、カバンや本で頭を守る。
- まどガラスやたおれやすい物からはなれる。

#### 《外では》

- ブロックのへいや石がぎ、自動販売機などからはなれる。
- 屋根がわらや看板などが落ちてくることがあるので注意する。
- 切れた電線に近づかない。
- 足をけがしないように、くつをはいてにげよう。

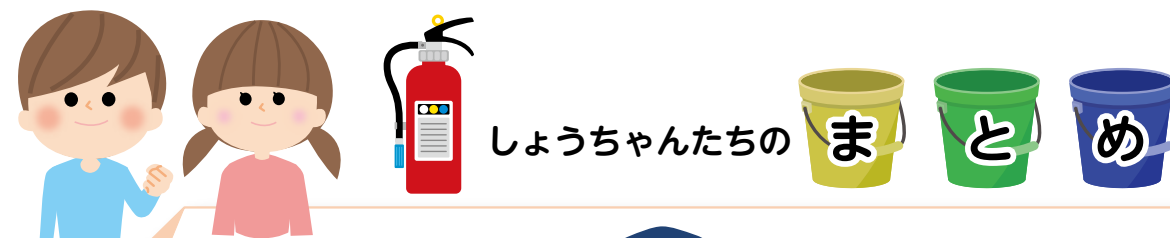


地震のゆれの強さを「震度」といい、0から7までの10段階で表します。また、地震のエネルギーの大きさは「マグニチュード」(M) という単位で表します。

震度0	震度1	震度2	震度3	震度4
人はゆれを感じない	わずかなゆれを感じる人がいる	大半の人がゆれを感じる	ほとんどの人がゆれを感じる	ほとんどの人がおどろく
震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人がきょうふを感じる	つかまらないと歩くことがむずかしい	立っていることがむずかしい	はわないと動くことができない	丈夫な建物でも、かたむくことがある

# 11 ぼくもわたしも消防士

しょうちゃんたちは、消防の仕組みや仕事について、いろいろ勉強した後、消防の仕事の次のおりまとめました。そして、おそろしい災害を防ぐにはどうしたらいいのか、みんなで話し合いました。



しょうちゃんたちの

## ★消防の仕事

1. 火を消す仕事。
2. 救急の仕事。
3. 救助の仕事。
4. 火災を起こさないための仕事。
5. 災害にそなえる仕事。



はい119です。火災ですか？救急ですか？



## ★おそろしい火災を防ぐには…

1. ライターなどで火遊びをしない。
2. 学校や家庭の中できけんなどところがないか注意する。
3. ひなん訓練や消火訓練を、くり返し行う。
4. 学校や家庭、地域で防火について話し合う。
5. 火災を見つけたときは、大きな声でまわりの人に知らせ、次のことを行う。
  - 電話(119番)で消防署に知らせる。
  - 小さな火は、バケツの水や消火器で消しとめる。
  - すばやくひなんする。



### 指導上の留意点

“油断と慣れが火事の元”と言われるように、火災は人災によるものがほとんどです。常日頃から、災害への準備や訓練を行うことにより、“イザ”という時、被害を最小限にいとめることができ、自分の命や他の人の命をも救うことができることを理解させてください。

# 消防の服 そうや そうび



いろいろな災害があるのでその災害にあった服 そうや そうびがあるんだ。

## 普通時服 そう



救急隊



消防隊



救助隊



制服

## 災害時服 そう



救急出動



火災出動



火災・救助



山岳救助

## 特殊災害時服 そう



油火災 (耐熱服)



放射能災害 (放射能ぼうご服)



有毒ガス災害 (化学ぼうご服)



水難救助

# 消防自動車のいろいろ

消防署にはいろいろな車があります。人を助けるための車。火を消す車。火災は、建物やもえる物によってもえ方がちがいます。早く消したり、助けるためにいろいろな車があります。

## 人を助ける車

### 救助工作車

照明灯、クレーン、ウインチなどを取り付け、油圧切断機や削岩機など人を助けるためのいろいろな道具を積んでいます。



### 救急自動車

救急救命士のしかくを持った救急隊員がのります。電気ショック器やゆえき器具などがのっています



### 水陸両用車

風水害のときに、地面が悪い場所や水めんを走行して、人を助けます。



## 熊本県防災消防ヘリ「ひばり」



山火事・水難事故・行方不明者捜索など、空から火を消したり、人を助けます。

## 火を消す車

### 消防ポンプ自動車(ポンプ車)

1分間に2トン(ドラムかん10本分)の水を出すことができます。



### 化学消防ポンプ自動車(化学車)

水では消えない油の火災にかつやくします。水と消火さいのタンクを持っていて消火あわを作り消火します。



### 水そう付消防ポンプ自動車(タンク車)

水を積んでいる消防自動車です。火災現場にすばやく行き、消火栓や防火水そうの水を取らないで、自分の水を使って消火します。



### 指揮車

火災現場で指揮をしたり、現場の様子を知らせるのに使います。



### 屈折はしご付消防ポンプ自動車 (屈折はしご車)

高いビルの火災で人を助けたり、火を消すのにかかせない車で、25メートル(8階)までのばせます。

はしごの先たんのバスケット内でも操作できます。



消防自動車は、火を消したり、人を助けるために、いろいろな器具を積んでいます。



指揮車には、ほかの消防車や指令室と連絡を取りあうための無線や、消防隊の指揮をとるためのマイク、指揮台、ドローンなどを積んでいます。



救急車には、けがや病気の人を寝かせて運ぶベッド（ストレッチャー）や、命を助けるための道具がつまっています。



タンク車には、1.5トンの水を積んでいるほか、車が行けない遠くはなれたところへすばやくホースをのばすことができるホースカーや、空気呼吸器、照明器具、また、油火災用の薬ざいも積んでいます。



救助工作車には、コンクリートや鉄を切ったり曲げたりする特殊な器具や、夜でも100メートルはなれたところで新聞が読めるほどとても明るい照明灯、3トンの荷物をつることができるクレーンなど、人を助けるための器具をたくさん積んでいます。

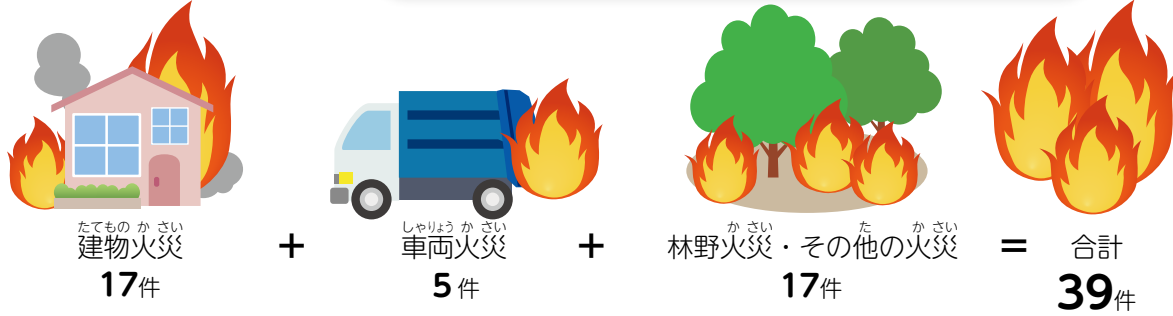
# 資料4

## 火災の統計

令和7年 宇城地区

宇城地区では、令和7年に39件の火災が起こっています。これは、おおよそ8日に1件の火災が起こったこととなります。

### 火災の件数



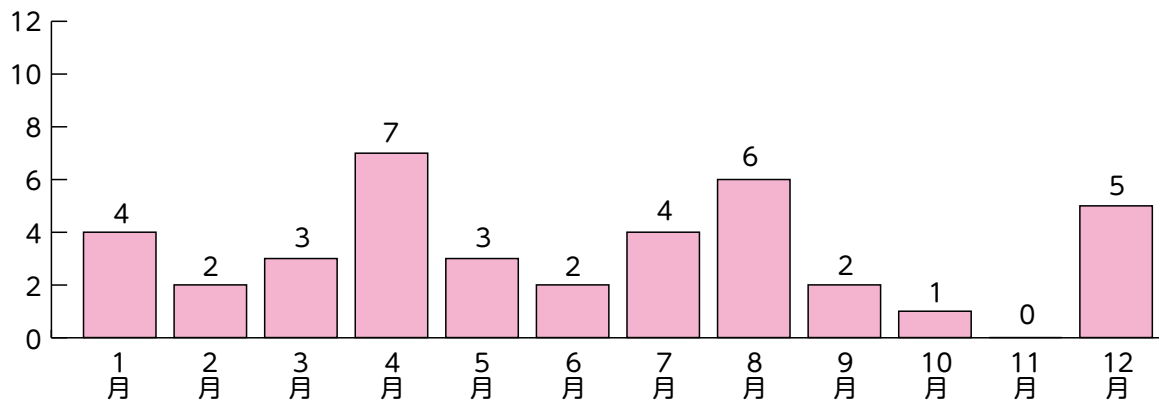
### 建物の焼けた広さは

約1,200平方メートル  
みなさんの教室のおよそ19部屋分。

### 建物火災のそんがいがく

約1億2,000万円

### 月別の火災件数



### 過去10年間の火災件数

年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
件数	35件	54件	39件	45件	32件	48件	38件	34件	45件	39件

※全国的に火災による死者は、高齢者が約半数をしめています。

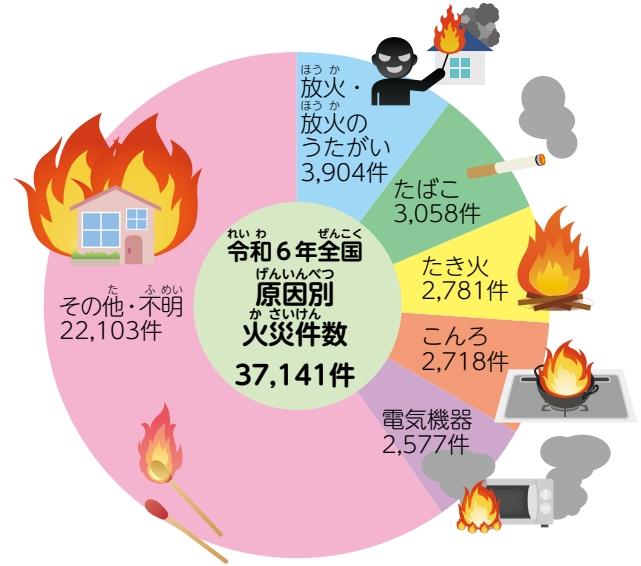
令和6年 1月~12月 (火災概要より)

令和6年(1月~12月)における火災件数は37,141件の火災が発生しました。これは、おおよそ1日あたり101件、14分ごとに1件の火災が全国のどこかで発生していたこととなります。

そのうち、火遊びで起こった火災が386件もあります。

また、1,451人が火災により死亡し、5,805人が火災により負傷しています。

熊本県 令和6年  
火災発生件数 627件  
そんがいがく 約10億3,500万円  
死者 21人



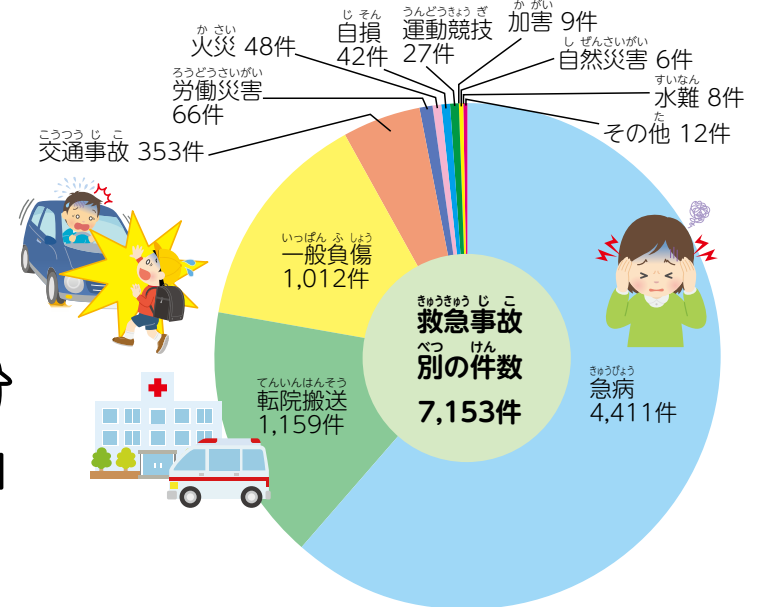
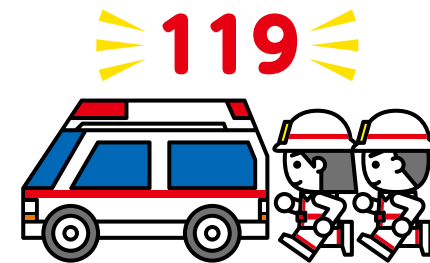
## 救急の統計

令和7年 宇城地区

令和7年に救急車で搬送した人は、6,339人です。

これは、宇城地区の住民の約16人に1人が、救急車で病院に運ばれたこととなります。救急車が1年間に出勤した回数は7,153件で、1日に約20件出勤したことになります。

このほかに、事故ではさまれたり、がけから落ちたりした人を助けるため「特別救助隊」が令和7年に97件出勤しました。



### 市町別救急出勤件数

市町	宇土市	宇城市	美里町	その他	計
救急件数	2,296件	4,192件	657件	8件	7,153件



救急現場に消防隊も出動します！

PA (ピーエー) 連携って何？

PA連携とは、救急現場において消防隊と救急隊が連携して救急活動などを行うことのそうしよです。

PA連携の必要性と目的

近くの救急車が出動している場合や救急隊だけでは傷病者の搬送がこんなな場合に、消防隊と連携して、傷病者の救命処置を迅速かつ確実にを行うことを目的としています。

消防車がPA連携で出動する場合

- 近くの救急車が出動中にあり、ただちに救急車が出動できないとき
- 階段や通路などせまい場所や建物の上層階などで救急が発生し、傷病者の迅速な搬送がむずかしいとき
- 救急隊3人では対応がこんなんと通信指令課員がはんだんした場合



A E D

AED (自動体外式除細動器) とは、心臓がけいれんしポンプ機能を失ったじょうたい (心室細動) に対し電気ショックをあたえ正常なリズムにもどすための医療機器で平成16年7月から「救命の現場にいわせたい一般人」の使用がみとめられています。

このAED...いろいろなタイプのものがありますが、最近ではみなさんの身近なところで目にすることができるようになりました。学校や病院など...みなさんにAEDの設置場所を知ってもらうだけでも救命につながります。



※Automated (自動) External (体外式) Defibrillator (除細動器)

津波や大きな風水害により、水につかたり地面が悪い場所において、効果的に消防活動を行います。



緊急消防援助隊マーク



助けた人を水の上で4名、りくの上で6名のせることができます。



令和2年3月に、九州ではじめて配備されました。



水めんでも、走行できます。



はんそう車にのせて、いどうします。

※緊急消防援助隊とは、全国で起こる大規模な災害に出動し対応する登録隊です。この中型水陸両用車は特に風水害での人命救助に対する特殊な車両です。